クーリッシュを知らない人もつい飲みたくなる企画



一8°Cは どっれだ?



Which one is -8 degrees Celsius?





店頭にはライバルが多すぎる。

猛暑が当たり前の昨今、クールダウンのニーズは高い。 しかし、店頭ではアイスだけではなく飲料などもライバル。 新商品やキャンペーンが乱立し、注目を奪い合っている。



クーリッシュの特徴を伝え、目を向けさせるきっかけが必要。

クーリッシュの魅力といえば、その冷たさ。

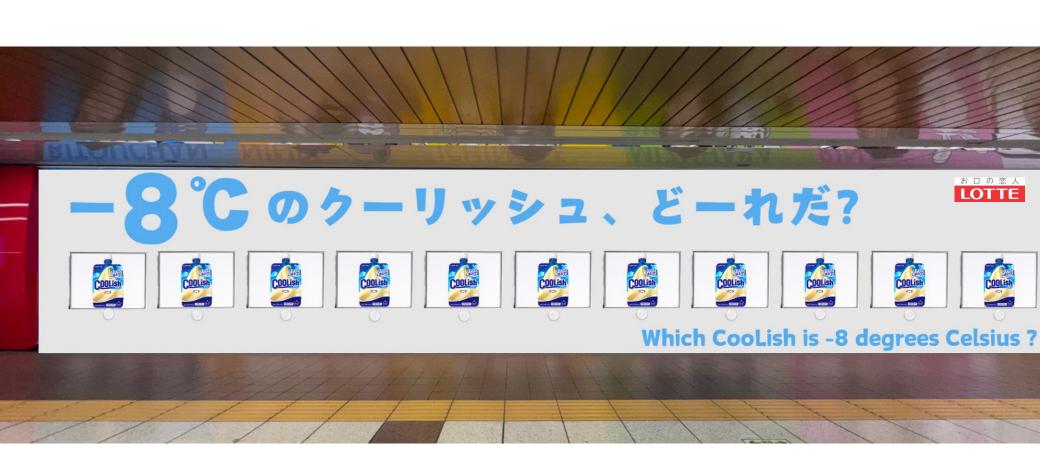




-8°Cで飲料よりぐっと冷たく、ほかのアイスよりも手軽。 さわって飲んで楽しめるこの冷たさを体感させ、 「涼しくなるならクーリッシュ」というイメージを広めたい。



駅に突然、大量のクーリッシュが出現! 全て異なる温度で冷やされており、 この中から-8℃の飲みごろクーリッシュを 見つけられたら、クーリッシュ1本プレゼント!



※一8℃はどっれだ?※

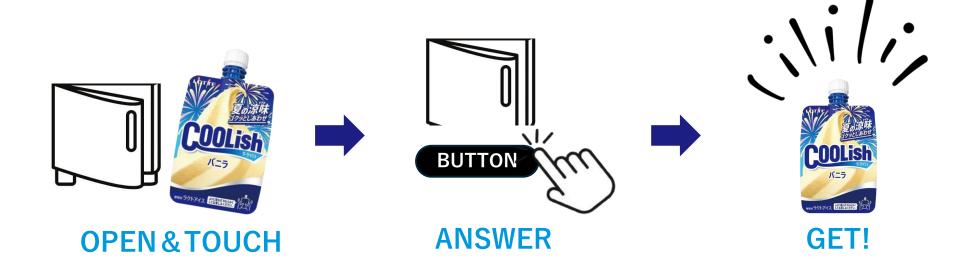
クーリッシュの温度って、見た目ではわからないもの。 「そろそろいいかな?」と感触を頼りに開けてみた経験、ありませんか?

そこに着目し、「-8°Cの飲みごろクーリッシュを当てるゲーム」を展開。 シンプルなゲーム性と、クーリッシュがもらえるインセンティブ。 クリアできそうなゲームには、挑戦したくなるのが人の性だと考えました。

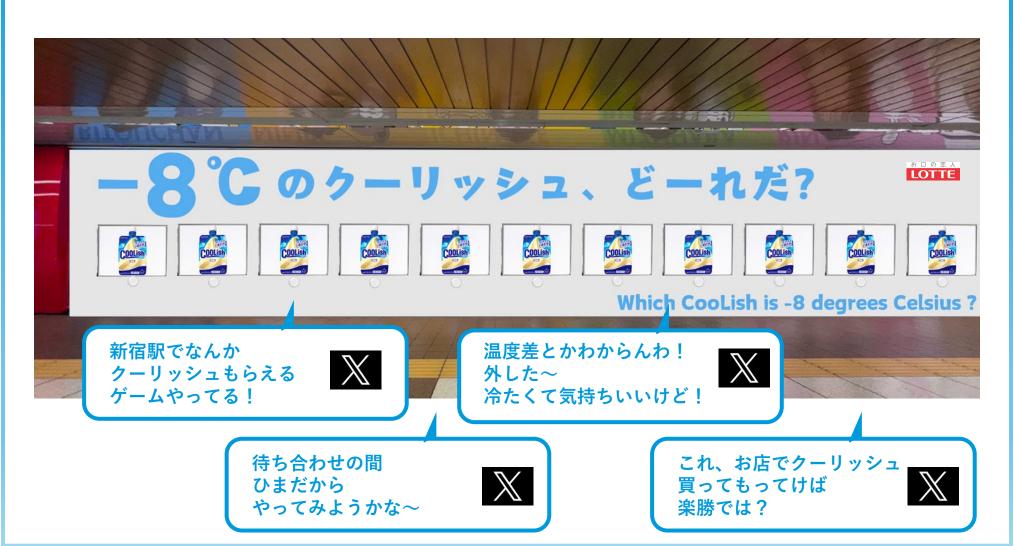
> 暑い夏の新宿で、さわって握ってひんやりと、 クーリッシュの冷たさを楽しんでもらいます。

ルールはシンプル。

ケースの中のクーリッシュに触り、-8℃と思ったものの ボタンを押して回答。正解なら、クーリッシュがもらえる。



ゲームクリアの達成感とクーリッシュをもらえたうれしさで、 つぶやきたくなる仕掛けに



<u>シンプルなゲーム性で、人種・言語を問わず</u> 参加しやすい企画に。

新宿駅は、多様な人種の人々が 行きかう場所。クーリッシュは 海外展開も本格化しており、 日本人以外にも触れてほしい商品です。

そのため、-8°Cを当てるゲームというシンプルな企画で、クーリッシュを飲みたい!と思うきっかけづくりを狙いました。



さわって楽しく、飲んでおいしく、当てて気持ちいい。 そんな企画で、新宿駅を使う人々に チョー気持ちいい瞬間を。

